

## 2023 第2回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

読解問題3題と対話文完成、文法誤用選択、適語補充の計6題です。

### 【1】 長文読解問題1(ストーリー)

2023年の1月に、アメリカのアラスカ州からアルゼンチンの南部まで自転車で旅をしたリアム・ガーナーという若者について述べた話です。問2の語句整序は、並べ替える語数も多いのでかなりの難問です。ポイントになるのは、<help O 動詞の原形>「Oが～するのを助ける(役立つ)」とdecide to～「～することに決める」です。さらに並べ替える語のmuchは「はるかに、ずっと」という意味で、比較級の形容詞longerを強める副詞として使われています。以上の3点に注意して並べ替えます。問5の語の定義は、仮にsurgery「外科手術」を知らなくても、直前の「彼(リアム)は事故に遭ってけがをした」という記述から、医者が行う行為であることがわかるといえます。問7の内容真偽(誤文選択)は、第2段落の1行目に、リアムは高校卒業後にこのとてつもない常軌を逸した旅[アメリカのアラスカ州からアルゼンチンの南部までの自転車で旅]を計画したことが書かれているので、「高校在学中に」となっているアが誤りであることがわかります。

### 【2】 長文読解問題2(説明文)

小惑星や隕石が衝突することによって生ずるクレーターについての文です。英文の内容は難しく、専門用語も多いですが、設問自体は本文の内容に沿っているので、丁寧に読み進めていけばある程度の正解は得られると思います。問3の同意語選択は、下線部(3-a)のfreeは「～がない」、下線部(3-b)のdidは強調の意味で用いられています。下線部(3-b)のdidは下線部の文と選択肢の文をよく見比べて、動詞の前にdidが置かれているものを選ぶようにしましょう。問6の題名選択については、本文を通して述べられているのは、地球で発生するほとんどのクレーターは、浸食、地殻変動、火山活動という3つのプロセスによってその跡を消されていて、月ではその3つのプロセスがなく、クレーターが残ったままであるという内容なので、イの選択肢を選びます。

### 【3】 対話文読解問題

アメリカからの交換留学生の女子学生と日本人の女子学生が日本について語り合う文です。問1, 問2の適文選択, 適文選択(疑問文)はそれぞれの空所の前後を読み取り, 適切な文を選ぶ問題ですが, 5つの選択肢に5つの解答なので, わかるものから解答し, 難しいものは後回しにして残った選択肢から正解を絞り込んでいくというやり方が無難だと思います。問4の整序は難問です。直訳で「必ずそれをチェックするつもりです。」となるので, make sure to~「必ず~する」を用いて, I'll make sure to で始めます。「それをチェックする[調べる]」は check out it ではなく, check it out と目的語の代名詞 it が check と out の間にくることに注意しましょう。

### 【4】 対話文完成問題

5問中易しい問題は1問もありませんが, 対話文の前後から最も適切な文や語句を選ぶことは可能です。例えば, 2は空所の直後が「後でかけ直していただけますか。」となっているので, 「外出している」というアの内容が最も適切です。3は Would you mind~ing 「~することを気にしますか」に対して, 空所の後の文から, 相手の申し出に同意しているので, イの「いいえ, 全く気にしません。」が最も適切です。

### 【5】 文法誤用選択問題

5問中, 1~4の誤りはごく基本的な誤りなので, わかりやすいと思います。5は過去分詞の形容詞的用法の問題で, 過去分詞 destroyed の後に by the earthquake があるので, destroyed は修飾する名詞 the house の後にきます。この語順は大変重要なのでしっかりと覚えておきましょう。

### 【6】 適語補充問題

1は「どのくらい(の期間)」ということなので, How long で始まる疑問文になり, 現在完了の文でさらに現在完了の進行形になるので, それぞれの空所に入る単語が分かるでしょう。その後は「彼女が日本に帰ってくることを」となるので, < for 人 to ~> 「人が~するのを」となり, 最後の空所には, 意味上の主語に用いる前置詞 for が入ります。ただ, ほとんどの受験者は, wait for ~ 「~を待つ」の形で覚えているので, for を答えられた人は多かったかと思います。

2は形容詞 careful 「注意深い」を含む, as~as possible 「できるだけ~」の文になります。助動詞 should の後に be 動詞くるので, 最初の空所には be 動詞の原形 be が入ります。その後は careful を as~as で挟む形になり, 後の as の後は空所が1つなので, possible が入ります。

## 2023 第2回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

今回のテストは、中学で学習した数学のうち、『三平方の定理』を除いた全単元からの出題です。基礎的な問題から応用問題まで、幅広い単元から作問しました。また、近年の高校受験では知識量よりも思考力を重視する流れが見られることから、「基礎的な知識だけで解くことができるがレベルの高い学力テスト」を目標としました。高校受験を予定していない場合でも、各大問は数学的思考力の訓練としてもふさわしいので、十分に復習してもらいたいと考えています。

### 【1】 計算問題

因数分解、 $\sqrt{\quad}$ の計算、2次方程式からの出題です。基礎的な問題が中心となっているので、まずはここで時間をかけずに正答し、点数を固める必要があります。全問テンポよく処理できるか、確認してください。

### 【2】 小問集合

平方根、関数や図形からの出題です。(2)では、求める場合の数を数え上げることが有効ですが、すぐに飛びつかず先に式変形を行うことで、効率的に答えを求めることができます。(4)は古くから出題されてきた問題ですが、近年再登場の兆しがあるので、考え方を理解して出題に備えておきましょう。

### 【3】 2次方程式の利用

見慣れない題材で、しかも長文です。後回しにするのも一つの方法ですが、実は長文問題は流れがつかみやすく、誘導が豊富にあることが多いです。文章題全般についていえるのですが、問題文を丁寧に読み、誘導にしたがって一つずつ式を立てて進める力はどんな場合にも必要です。

### 【4】 円の性質

『円と接線』に関する重要な性質を習得しているかを試す問題です。(2)(ii)では、「傍接円」の考え方を扱いました。未習の受験生もいるかもしれませんが、既に学んだ基礎知識を使って考えることを常に意識してください。また、近年の高校受験でも「傍接円」の出題が見られますので、十分に復習してください。

## 【5】 関数と図形

小問(1)～(3)は典型的な出題パターンとして、定期テスト・入試問題を問わず頻出なので確実に正答できるように復習する必要があります。(4)は、頭の中だけで考えようとせずに、まずは自分で完成予想図を描いてみることです。状況を把握できれば、その先が見えてきます。

## 【6】 空間図形

(2)(i)は相似を用いた解法が一般的で、解説で示した三角形同士が相似の関係にあることは知っておくと便利です。(2)(ii)では、「立体を複数の四角錐に分けて体積に注目する」という考え方をここで十分に理解しておきましょう。今後、幅広く応用することができます。

## 2023 第2回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

現代文、韻文、古文とバランスを考慮した内容となっています。夏休み終盤に実施のテストということで、これまでの学習成果を総合的に判定し今後の学習課題を明確化するために、基本から応用までの幅広いレベルの読解・記述・文法問題を出題しました。

### 【一】 漢字の読み書き。

書き取りは特に難解なものはありませんが、(3)は「温める」との使い分けに、(4)は「受ける」と混同しないように注意しましょう。読みはいずれも間違えて覚えている場合が多い漢字なので、これを機に覚えてほしい言葉です。

### 【二】 論説文の読解…………… 原研哉『創造するということ』より「日本のデザイン、その成り立ちと未来」

グラフィックデザイナーによる筆者の、日本人の美意識がいかに文化に根差していて、それを次世代に継承していくことの価値について述べている文を採りあげました。昨今の日本の世界的な地位の低下や、外国文化の安易な流入に伴うことによる日本古来の文化の衰退に危機感を持ち、日本の伝統文化に誇りを持つことを、この文章によって気づいてほしいとのねらいがあります。

設問自体は難しくなく、内容をしっかり読み取ることができれば、しっかり得点できるものを出題しました。**問四**の記述は、日本と他国の比較をしっかりと理解できれば、あとは文章をまとめる力があれば満点を取れるでしょう。**問六・問七・問八**が正解できていれば、しっかり読解ができていると言えるでしょう。

### 【三】 小説文の読解…………… 大島真寿美『空に牡丹』

明治時代を舞台にした小説を採りあげました。主人公の心の動き、義理の兄の行動やその末路を通して彼の心のうちにあった葛藤、それら登場人物たちの心情理解がしっかりと読み取れるかがねらいです。普段小説を読み慣れていない受験生には、小説の読解のよい練習になったと思います。問二・問七の記述は、うまく文にまとめられるかがポイントです。

#### 【四】 俳句の鑑賞

俳句の知識と読解が定着しているかを測ることがねらいです。**問一**の文学史、**問二**の切れ字はともに標準的なレベルのものなので、しっかりと押さえておきましょう。**問四**の季語は難度の高いものですが、動植物に関する季語はなるべく多く覚えておきたいところです。**問三**と**問五**は会話文や鑑賞文をとおして、有名な句の理解を深めてもらうことができるように出題しました。普段から、国語便覧などで有名な句の解釈を読んでおきましょう。

#### 【五】 古文の読解…………… 『大和物語』百五十七段・『伊勢物語』二十三段。

和歌を詠むことで状況が好転するという歌徳説話の文章を採りあげました。和歌はどのような意味なのか、それによって何がどうこうてんしたのかをしっかりと読み取りましょう。**問三**や**問五**のように複数の古文を読み比べる問題は近年の入試でよく見られるので、今のうちから意識しておくべきです。**問二**の係り結びの法則、**問四**の掛詞は、確実に正解したいレベルの知識問題です。

## 2023 第2回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ、中学1年生で学習する範囲の問題が中心です。基礎となる内容だけでなく、中学2・3年では学ばない独立した単元も多くあります。すでに忘れ気味の人もあるかもしれませんが、受験本番では同等に出題されますし、2年生以降の理科や数学で学ぶ内容を絡めるなど、より複雑化する場合があります。しっかりと復習し、2学期の学習計画に役立ててください。

### 【1】身の回りの物質①（気体、水溶液）

さまざまな気体に関する知識を試しました。気体の性質には、色、におい、水への溶けやすさ、水溶液の性質（酸性、中性、アルカリ性）、空気より重いか軽いかなどがあります。気体の発生に関しては、反応する物質の組み合わせや実験方法などです。知識の抜けがないか、確認しておきましょう。

### 【2】いろいろな生物とその共通点①（植物の分類、動物の分類）

生物の分類は、まず知識がベースとなります。とはいえ、単純に知識だけでなく、与えられたデータも活用して答えにたどり着けるような問いも設けるよう心がけました。例えば(4)は、ツユクサが単子葉植物である知識がなくても、図を見ることで葉の平行脈に気づけば、答えを導ける問題になっています。

### 【3】身近な物理現象①（音）

弦の振動と発生する音の波に関して、音の性質の知識と、音の振動数・波長・伝わる速さの関係についての思考力・計算力を試しました。物理的な性質や規則性を見つけ出す方法を身につけ、理解を深めてほしいです。

### 【4】大地の成り立ちと変化①（火山、地層）

火山や地層の単元は知識問題が多く、どんな形式でも解答できるようにしっかり身につけておきましょう。(2)は化学分野の知識、(4)は初見のグラフに対して大雑把に読み取る力が必要になってきます。

### 【5】身近な物理現象②（光）

光の屈折と凸レンズのはたらきに関する問題を出題しました。物体と凸レンズの距離を変えたときの、スクリーンに映る実像について、知識や、作図による像の位置・大きさを調べる力を問うています。

**【6】 大地の成り立ちと変化②（地震，災害）**

近年，自然災害関連の学習が重視され，地震や災害は入試にも多くとりあげられている分野ですので，興味を持って学習を進めてもらいたいです。正解・不正解にかかわらず，他の選択肢もよく読んでおいてください。

**【7】 いろいろな生物とその共通点②（動物の分類）**

動物の分類に関する出題以外に，サケやクマのからだの特徴を題材にした問題も出題し，読み物としても興味深いものにしました。(4)では設問内の条件，(2)では本文中の議論から，答えを論理的に導くことが可能です。

**【8】 身の回りの物質②（科学技術と人間）**

地球温暖化の原因の1つとして，温室効果ガスによる赤外線（熱エネルギー）の吸収が注目されています。本問では，赤外線やさまざまな温室効果ガスの発生原因，二酸化炭素に関する知識と計算力を試しました。本問を通して，身近な問題として地球温暖化に興味をもち，科学的な判断力の向上を目指してほしいです。



## 2023 第2回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理は、細かな知識の有無を試すことは極力排しながら、高学力層の間でも実力により点差の付く出題を心がけました。歴史は、近世史の流れと文化史の重要事項を確認する問題です。公民では、国会・内閣・裁判所・地方自治を中心に、使用している語句のレベルは高くないものの、内容の理解がきちんとできているかを意識して出題しました。

### 【1】 南北アメリカ・アフリカ・オセアニア

リード文にした形成要因による砂漠の分類については、高校地理で学ぶ内容ですが、難関校志望の受験生は知っておいた方が良いでしょう。統計データを使った設問はいずれも、学習した知識を関連付けて使用することで正解してもらいたいものですが、大豆の輸出量が第1位の国がどこであるかは難しかったかもしれません。図版問題では、ベネズエラ、エクアドルが産油国であることを知っていたでしょうか。比較的近年の事柄として、ケニアでヨーロッパ向けの花の栽培がさかんであることや、アメリカでシェールガスの生産量が増えていることを取り上げました。

### 【2】 日本の地形・気候

頻出事項ではありませんが、温暖な小笠原諸島と多雨である屋久島の雨温図を知識の広さという地力を試す意味で用いました。淡路島が兵庫県であることは盲点ではなかったでしょうか。比較的最近の用語としてエコツーリズムとグリーンツーリズムの違いを尋ねました。

### 【3】 安土桃山時代・江戸時代の歴史

(1)の近世史初期の武将については、本問の豊臣秀吉だけでなく、織田信長と徳川家康の事績についてもきちんと把握することが必要です。(3)の世界史分野の出題では各選択肢の内容だけでなく、選択肢で説明されている出来事の時期(世紀)についても注意を向けるようにしましょう。(7)の江戸時代の蘭学者については、各人物名とその著作などの業績を組み合わせることで押さえましょう。(10)の江戸時代の海運は、使用された航路や船舶も含めて基本事項です。(11)の2の幕末の貿易については、本問のようにグラフ等を使用して設問も多いので、輸出品と輸入品の状況をしっかり区別することが大切です。

#### 【4】 文化史

(2)の仏教関連の設問では、寺院などの仏教施設の時代や建設者、様式などをそれぞれ押さえるようにしましょう。(4)の近代の文学に関しては、各作家とその著作名とともに、その作家が活動した時代にも注意する必要があります。(6)の明治時代の教育関係の政策については各政策の年代だけでなく、その内容についても基本的なことは把握することを心がけましょう。

#### 【5】 政治のしくみ

(1)は、正誤のポイントになる重要な部分の理解を問うものになっています。(2)と(3)にある選挙と国会に関する問題は、いずれも頻出の語句を使用した標準レベルの内容ですが、理解が浅いと点数を得にくいような出題になっています。(4)と(5)の内閣・裁判所に関する問題は、語句記述も含めて選挙と国会よりレベルを落とし、高い正答率を期待したものになっています。(6)の地方自治に関する問題は、1と3は基本的な学習をしていれば正解できる内容である一方で、2にある計算問題は、数値の暗記だけだと失点しやすい出題にしています。

全体を通して難解なものはなく、学習到達度がそのまま得点率に直結することをねらいとして出題しました。